

会 議 等 出 席 連 絡 票

報告日:令和5年7月25日

報告者氏名	いわきケアマネ協会副会長 佐藤久美子
会議等名称	令和5年度 第1回高齢者生活安全部会
会議等主催	いわき市 保健福祉部 地域包括ケア推進課
会議等日時	令和5年7月19日(水) 14:00~15:30
会議等開催場所	いわき市総合保健福祉センター3階 栄養指導室
内 容	<p>(1)本部会の位置づけ(全体像のあらまし)</p> <ul style="list-style-type: none">・全市的レベル 地域包括ケア推進会議の中の【作業部会】であり、この部会は、①生活安全(認知症) ②健康と生きがいつくり ③医療と介護連携 の3つの小部会で構成されています。・高齢者生活安全部会は、認知症初期集中支援チームの検討委員会を兼ねており、認知症初期集中支援チームの設置及び活動について検討を行い、一体的に事業を推進していくための合意の場 <p>(2)認知症初期集中支援チームの活動実績報告</p> <ul style="list-style-type: none">①対応したケースの約7割が在宅生活を継続できている。②チームの支援により、本人・家族を支援してくれる人が増えた、専門職側が抱え込みをせず連携して対応することの重要性が認識できた、家族の負担軽減につながったなどの効果がみられた。 <p>(3)認知症初期集中支援チーム活動の今後の取組みについて。</p> <p>◎単身世帯増、高齢化に伴い、キーパーソン不在や複合的な課題を抱えるケース、認知症以外の精神疾患を有するケースが増えてくることが予想され、また、チームと関連分野(高齢・障がい等)、権利擁護など、他分野との連携の重要性が高まってくると考えられる為、医療・介護サービスの利用を希望しないことにより、孤立している状態にある方への対応が十分か、事例を積み上げ、対象者の適切な把握や必要な支援体制について検証していく。</p> <p>(4)いわき市認知症施策について</p> <ul style="list-style-type: none">○令和5年度事業計画(案)①普及啓発・本人発信支援<ul style="list-style-type: none">→ミーティングよもの会

認知症サポーター養成講座

【新】認知症キャラバンメイト交流会

VR 認知症体験会

世界アルツハイマーデー及び月間における普及・啓発活動

②予防 → つどいの場創出事業・ものわすれ相談会

③医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

→認知症初期集中支援チーム・認知症多職種協働研修会

オレンジカフェ以和貴・認知症あんしんガイド配布

徘徊高齢者家族支援サービス・認知症地域支援推進員

④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援

社会参加支援

→【新】認知症サポーター活動促進・地域づくり事業

(チームオレンジ・スローショッピング)

若年性認知症支援コーディネーターとの連携強化

(5) 認知症サポーターの活動促進について

現状：サポーターの養成状況

延べ 27, 209 人（平成 18 年度～令和 4 年度）

方針：できる範囲で手助けを行うという活動の任意性は維持しつつ、ステップアップ講座(実践講座)を受講した認知症サポーター等が支援チームをつくり、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な活動につなげるための仕組みの構築を検討していく。

【他市の活動例】岩手県滝沢市

スーパー・滝沢市・西北医師会・滝沢市社会福祉協議会が連携した買い物環境づくりの例

→毎週木曜日 13 時～15 時に、認知症など手伝いを必要とする人やその家族が安心して買い物ができる空間を提供するもの

- ・認知症サポーター養成講座講座を受講したボランティアが買い物を手伝う
- ・ゆっくり会計ができる「スローレジ」を配置(2019 年 7 月～)

課題：①どのような役割や活動の場があるか。

地域の認知症の方やご家族のニーズ(困りごと、やりたいこと)の把握

②活動を促進するため仕組みや連携先について

地域づくりのアクション、各機関でできること

いわきケアマネ協会会員の皆さん、多職種協働にて『認知症の人にやさしいまちづくり』を目指しましょう。